

令和 7 年度

学校法人 佐賀理容美容専門学校

アイ・ビービューティカレッジ

理容科・美容科

申請書

【様式】 第 2 号

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アイ・ビービューティカレッジ
設置者名	学校法人佐賀理容美容専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	1,980 時間	160 時間	
	美容科	夜・通信	1,980 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

・事務室に常時備え付け（訪問時いつでも閲覧可）
「修学支援制度の機関要件に関する情報公開一式」にファイリング

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アイ・ビービューティカレッジ
設置者名	学校法人佐賀理容美容専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

・事務室に常時備え付け（訪問時いつでも閲覧可） 「修学支援制度の機関要件に関する情報公開一式」にファイリング

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理容店経営（理容師）	2025.06.01 ～ 2029.05.31	学校運営・カリキュラム等の助言・監査
非常勤	美容店経営（美容師）	2025.06.01 ～ 2029.05.31	学校運営・カリキュラム等の助言・監査
(備考) 理事定数7名（うち学外者5名）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アイ・ビービューティカレッジ
設置者名	学校法人佐賀理容美容専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・シラバスは、理容師・美容師養成施設指定規則に則り、教務職員が立案し、学校長の確認を得て実施し、2月末を目処に作成する。 ・シラバスは入学時のオリエンテーションで配布し、十分な説明を行うとともに、事務室に常時備え付けて公開している。	
授業計画書の公表方法	・事務室に常時備え付け（訪問時いつでも閲覧可） 「修学支援制度の機関要件に関する情報公開一式」にファイリング
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・理容師・美容師養成施設基準による規定時間数を受講していることを前提に、 1年次：2回、2年次：2回の計4回の定期試験を実施している。 理論科目については、筆記試験、実習科目については実技試験を行う。全過程修了時に評点を平均し最終評価を行う。 【学修意欲の把握】 学修意欲および就業意欲を把握するため、年2回の定期的な面談を行う。その他必要に応じて随時面談を行う。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・単位制でないため、課程修了時に履修時間を単位数に変換し、G P Aを算出する。具体的には、30時間の履修時間を1単位とし、試験得点に応じて0～4の5段階のG P Aで計算し、その合計の平均を算出する。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	・事務室に常時備え付け（訪問時いつでも閲覧可） 「修学支援制度の機関要件に関する情報公開一式」にファイリング
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 【デュプロマポリシー】 理容師および美容師国家資格取得が目標であるため、養成施設の指定基準に則り、国家試験の受験資格を有することを卒業認定の基準とし、卒業判定会議で決定する。具体的には、2年間で規定時間2010時間を履修しD評価課目がないこと。なお、進級にあたっては、進級判定会議をおこない、卒業基準を満たす可能性がない場合は進級を認めない。 進級および卒業判定については、入学時と進級時のオリエンテーションで詳細を説明する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	・事務室に常時備え付け（訪問時いつでも閲覧可） 「修学支援制度の機関要件に関する情報公開一式」にファイリング

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛 生		衛生専門課程	理容科		○			
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2010 単位時間／単位	630 単位 時間／単位	300 単位 時間／単位	1080 単位 時間／単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	
			2010 単位時間／単位					
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人		33 人	0 人	3 人	14 人	17 人		
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）								
（概要） シラバスは理容師・美容師養成施設指定規則（厚労省）に則り、教務職員が立案し、 学校長の確認を得て実施する。								
成績評価の基準・方法								
（概要） 理容師・美容師養成施設基準による規定時間数を受講していることを前提に、1 年次： 2 回、2 年次：2 回の計 4 回の定期試験を実施する。理論科目については、筆記試験、 実習科目については実技試験を行う。全過程修了時に評点を平均し最終評価を行う。								
卒業・進級の認定基準								
（概要） 理容師および美容師国家資格取得が目標であるため、養成施設の指定基準に則り、国 家試験の受験資格を有することを卒業認定の基準とし、卒業判定会議で決定する。 具体的には、2 年間で規定時間 2010 時間を履修し D 評価科目がないこと。なお、進級 にあたっては、進級判定会議を行い、卒業基準を満たす可能性がない場合は進級を認 めない。								

学修支援等
(概要) 【学生生活支援】 担任および副担任を配置し、相談や指導をいつでも行える環境を整えている。必要であれば保護者とも密に連絡をとり、国家資格の取得および希望するサロンへの就職等学生の目的達成をサポートしている。 【モチベーションの向上】 1. 校内の競技大会、全国理容美容学生技術大会など様々な競技大会に1年次から参加し、モチベーションの向上に努めている。 2. ショー形式で業界人、保護者へ学んだ技術の成果を発表する「i bコレクション」を年に1回実施している。 【業界就職支援】 理容室・美容室と提携しており、年60時間の実務実習や特別講座などで現役実務者と接する時間を増やしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	17人 (100%)
(主な就職、業界等) 理容業・美容業・エステ・ネイル等			
(就職指導内容) 個人面談、模擬面接、履歴書、就職ガイダンス等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師免許・美容師免許・ネイル検定・パーソナルカラー検定・メイクアップ検定 サービス接遇検定・その他			
(備考)（任意記載事項） 卒業生17名は、全員Wライセンスコース（理容修得者課程）に進級。8月（実技）・9月（筆記）に美容師国家試験を受験し、9月に卒業～就職予定である。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、生活指導・就職支援、公認心理士によるカウンセリング（定期）、通信課程への転入等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2010 単位時間／単位	630 単位 時間／単位	300 単位 時間／単位	1080 単位 時間／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2010 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		63 人	0 人	3 人	14 人	17 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスは理容師・美容師養成施設指定規則（厚労省）に則り、教務職員が立案し、学校長の確認を得て実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） 理容師・美容師養成施設基準による規定時間数を受講していることを前提に、1 年次：2 回、2 年次：2 回の計 4 回の定期試験を実施する。理論科目については、筆記試験、実習科目については実技試験を行う。全過程修了時に評点を平均し最終評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 理容師および美容師国家資格取得が目標であるため、養成施設の指定基準に則り、国家試験の受験資格を有することを卒業認定の基準とし、卒業判定会議で決定する。 具体的には、2 年間で規定時間 2010 時間を履修し D 評価科目がないこと。なお、進級にあたっては、進級判定会議を行い、卒業基準を満たす可能性がない場合は進級を認めない。
学修支援等
（概要） 【学生生活支援】 担任および副担任を配置し、相談や指導をいつでも行える環境を整えている。必要であれば保護者とも密に連絡をとり、国家資格の取得および希望するサロンへの就職等学生の目的達成をサポートしている。 【モチベーションの向上】 1. 校内の競技大会、全国理容美容学生技術大会など様々な競技大会に 1 年次から参加し、モチベーションの向上に努めている。 2. ショー形式で業界人、保護者へ学んだ技術を発表する「i b コレクション」を年に 1 回実施している。 【業界就職支援】 理容室・美容室と提携しており、年 60 時間の実務実習や特別講座などで現役実務者と接する時間を増やしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	0 人 (%)	15 人 (65.2%)	8 人 (34.88)
（主な就職、業界等） 理容業・美容業・エステ・ネイル等			
（就職指導内容） 個人面談、模擬面接、履歴書、就職ガイダンス等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理容師免許・美容師免許・ネイル検定・パーソナルカラー検定・メイクアップ検定 サービス接遇検定・その他			
（備考）（任意記載事項） 卒業者数：その他の 8 名はWライセンスコース（美容修得者課程）に進級。8 月（実技）、 9 月（筆記）に 理容師国家試験を受験し、9 月に卒業～就職予定である。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、生活指導・就職支援、公認心理士によるカウンセリング（定期）、 通信課程への転入等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	120,000 円	735,000 円	510,000 円	実習費・研修費・教材費
美容科	120,000 円	735,000 円	510,000 円	実習費・研修費・教材費
修学支援 (任意記載事項)				
遠方からの修学支援として交通費支援、一人暮らし費用支援を実施				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ib-beauty.jp/disclosure/ippan/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
年間に2回、学校関係者評価委員会を実施する。 主な評価項目は、「学校運営・教育活動・学修成果・学生支援・教育環境・学生受け入れ募集・地域貢献等」とする。 学校評価委員会は、理容・美容の業界関係者・地域代表・高校教諭の4名で構成する。 また、学校評価の結果を受け、学校長を中心に次年度内に改善を図り、さらに学校の「質の向上」や「マネジメント」については継続的に改善する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
理容サロン 代表	2024. 4. 01～2026. 3. 31	業界就職先
美容サロン 代表	2024. 4. 01～2026. 3. 31	業界就職先
高等学校	2024. 4. 01～2026. 3. 31	高校教諭
佐賀市伊勢町代表	2024. 4. 01～2026. 3. 31	地域代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ib-beauty.jp/disclosure/ippan/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ib-beauty.jp/disclosure/ippan/
--